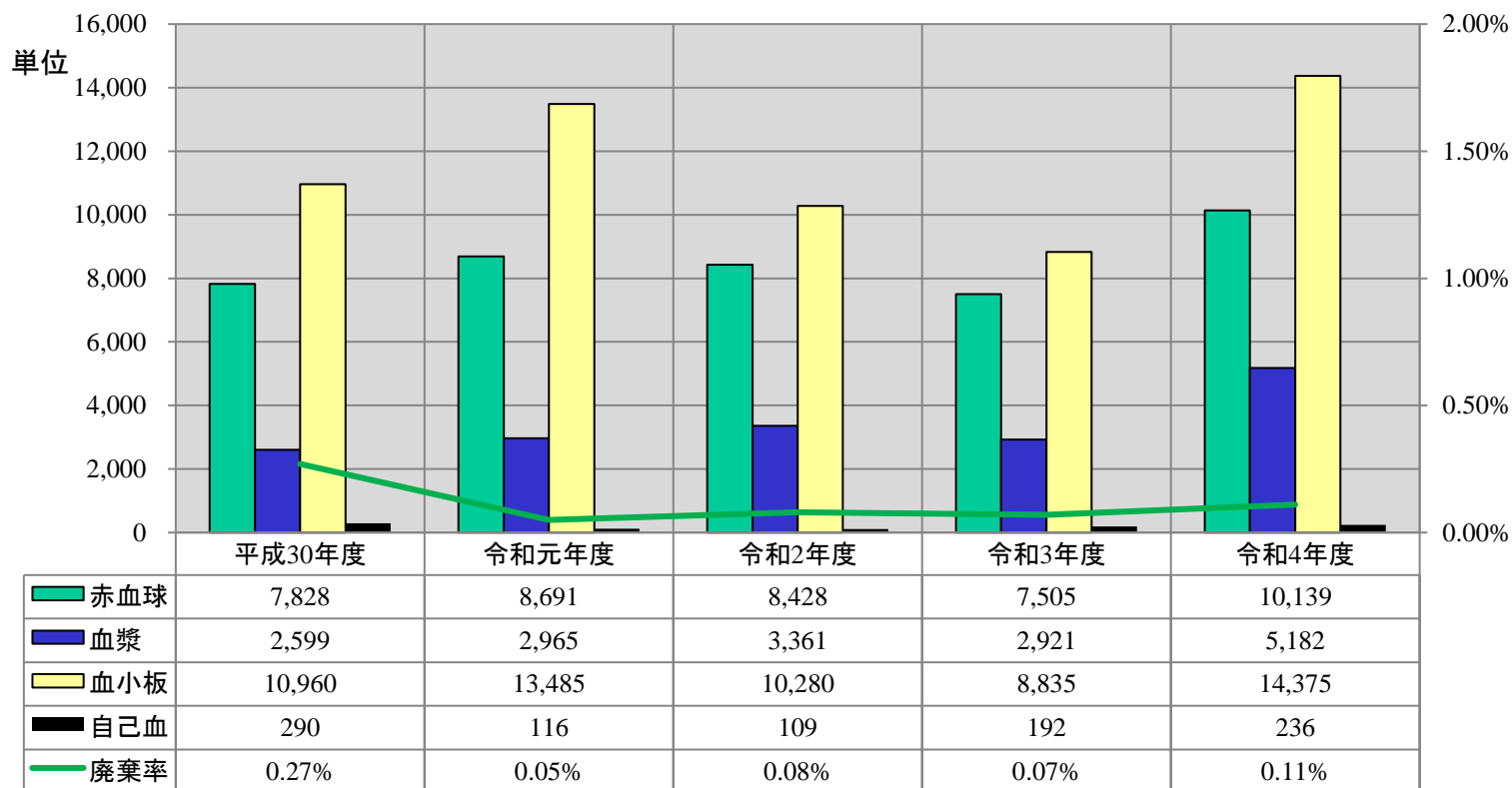


血液製剤使用数・廃棄率の推移

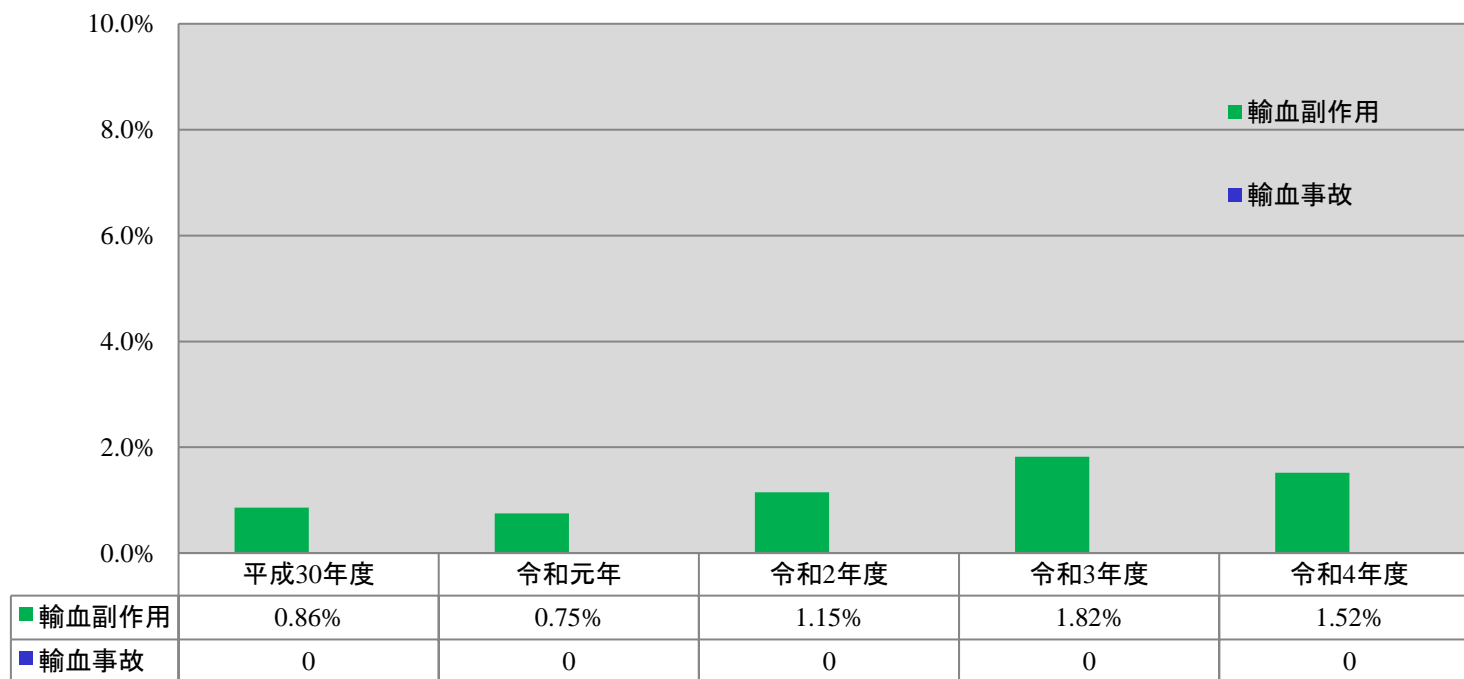
所属：輸血部



- ・ 赤血球及び血漿製剤の使用数は横ばいで推移していたが、令和4年度は増加した。
- ・ 自己血採血は減少傾向だったが、令和4年度はコロナ禍以前の件数に戻りつつある。
- ・ 令和4年度の血液製剤廃棄率は0.11%で、引き続き低値を示した。

輸血副反応・輸血事故発生頻度の推移

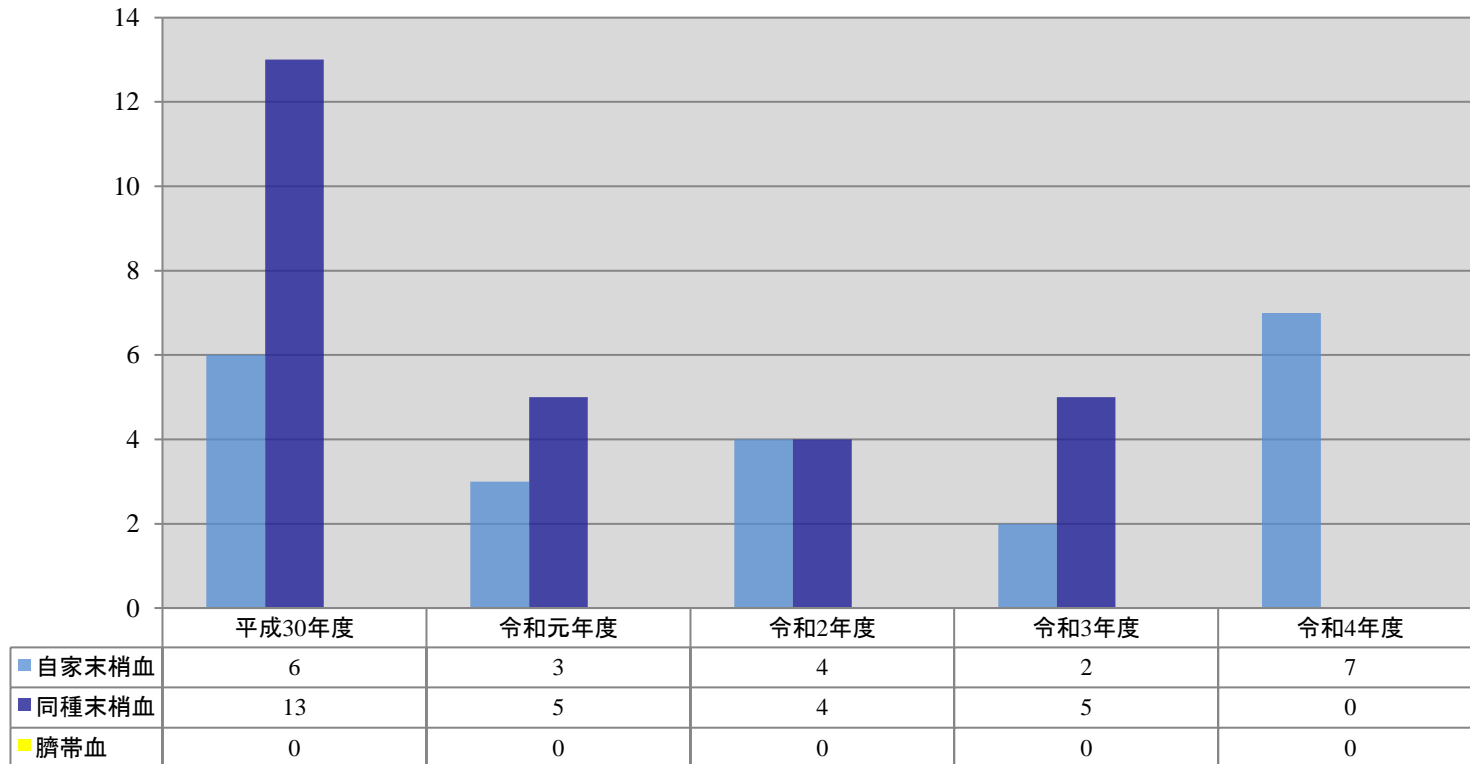
所属：輸血部



- ・ 発熱、じんま疹等の輸血副反応の発生頻度は1%前後で推移している。
- ・ レベル3b以上の輸血事故は発生していない。

造血幹細胞移植数の推移

所属:輸血部



- ・ 造血幹細胞移植はすべて末梢血幹細胞移植である。
- ・ これまでは同種移植の割合が多かったが、令和4年度は全て自家移植であった。